

みつたけ
光武

1985
年佐賀県生
まれ。上智大学文
学部在学中、起業に目
覚める。在学中より始めたフ
リーでの予備校講師業を継続す
る傍ら、発達障害バー「The
BRATs」のオーナーの顔を持つ。
学習参考書、教育コラム、発達
障害にまつわる記事などの
執筆活動や、教員へ向け
た教育研修事業など精
力的に活動をし
ている。



すぐる
克

フ
リーライ
ター。1987年生
まれ。宮崎市出身。日
本女子大学文学部日本文学科
卒。大学時代は出版社でアルバイ
トをし、編集業務を学ぶ。卒業後は一般
企業に就職。25歳のときにライターに転身。
現在は週刊誌や Web など執筆中。専
門は性、社会問題、生きづらさ。
猫が好き過ぎて愛玩動物飼
養管理士2級を取得。

**入場
無料**



(埼玉県上尾市戸崎 1-1)

ひめの
姫野



けい
桂

ADHD 当
事者として
放課後等デイサービス
「BUTTERFLY EFFECT」
を開校。発達障害児と参加した
「マイクラフトカップ」にて
マイクロソフト賞、部門大賞などを受賞。
相談支援専門員、児童発達支援管理
責任者。また政治家としても精
力的に活動中。

いけだ
池田



まこと
誠



令和5年

お申し込み

3/25(土)
10:00~
in 聖学院大学

発達障害を抱えながらもTVやネット、
書籍などで精力的に活動している3人が集結！
生きづらさを抱えている若い世代へ、
笑いあり涙ありの熱いトークをお届けします！

**ハッピー
を語ろう**

— 私たちが創る、共に生きる社会 —

発達障害当事者と「ハッタツ」を語ろう — 私たちが創る、共に生きる社会 —

主催： 聖学院大学心理福祉学研究会 共催： 聖学院大学心理福祉学部心理福祉学科

日時： 2023年3月25日（土） 10:00～12:00 場所： 聖学院大学 7号館 7401教室

障害特性を持ち、生きづらさを抱えつつ力強く生きる成人発達障害当事者による発達障害青年やその家族に向けた希望のメッセージと、共生社会を目指す支援者の養成に携わる聖学院大学心理福祉学部の教員とによるトークセッションです。
相互理解にむけた語りを通して、誰もが自分らしく生きる社会を実現するためにどんなことができるのか、一緒に考えてみましょう。

聖学院大学登壇者プロフィール

- 田村綾子（聖学院大学大学院心理福祉学研究科長・同大学心理福祉学部長・同教授）
専門：精神保健福祉。精神科病院や一般企業のメンタルヘルス部門でのソーシャルワーカー経験あり。
さまざまな障害のある人とともに、地域生活における欲求充足度や支援の満足度に関する研究を展開中。
- 大橋良枝（聖学院大学心理福祉学部教授）
専門：臨床心理学。ひとりひとりの心が大事にされる組織やコミュニティづくりの実践、研究（学校、福祉施設、保育所、被災地）など。
- 森岡由起子（聖学院大学心理福祉学部特任教授）
専門：臨床心理学。大学病院の精神科や小児科、さらにはスクールカウンセラーや福祉関連など幅広く活動。現在は、心理福祉学部附属心理相談室の室長として公認心理師の育成と地域の方のカウンセリングを行う。
- 長谷部雅美（聖学院大学心理福祉学部准教授）
専門：高齢者福祉。大学ではソーシャルワーカー養成にも従事。研究テーマは一人暮らし中高年者が求める支援のあり方など。

お申込み 締切：2023年3月22日 ※定員になり次第、締切ります（先着順）

対 象：高校生およびその保護者、在学生含む大学生

募集人数：対面200名（先着順・無料）

聖学院大学総合研究所HPや、右のQRコードよりお申込みください。 お申込みはこちら →



大学キャンパスへのアクセス

当日は、宮原駅、西大宮駅からの学生バスが無料でご利用いただけます。バス時刻表はこちら →
宮原駅（JR高崎線）より学生バス10分、徒歩20分 **Dダイヤ**を参照ください
西大宮駅（JR川越線・埼京線）より学生バス15分
※お車でのお来場はご遠慮ください。お車でのお来場が必要な方は事前にご相談ください。



SEIGAKUIN OPEN CAMPUS 3/25（土）13:00～16:00

「ハッタツを語ろう」のあとは、オープンキャンパスへ！

同時予約
がオススメ



<心理福祉学部 模擬講義>

仲間外れはなぜ起こる？

私たちはいじめ（排他）のない社会を作れるだろうか？



<先生と話そう！>

進学個別相談

人を援助したいと思うようになったきっかけとして、いじめや仲間外れによって辛い思いをした、それを見ていて何もできなかった自分が嫌だった、という学生がたくさんいます。仲間外れやいじめは、学級内にとどまらず、大人の社会でも存在しますし、世界中を見回しても重要な問題です。そこで今回は、仲間外れの心理に触れてみましょう。あなたの知りたかったことがそこに見つかるかもしれません。